

安全……それは職場の外でも



煙感知器は、最善の防衛策

火災は、死亡事故を引き起こす代表的な原因の一つです。火災等緊急事態に対処するため、出来る限りの予防措置を取り、十分な備えを施しましょう。

家庭での火災による死者の半数以上は、就寝中の午後10時～午前2時の間に、発生しています。その就寝中に発生した火災を少しでも早く覚知する上で煙感知器は非常に有効な手段であり必需品です。煙感知器は、延焼を早期に検知し、皆さんが家から安全に避難するに十分な時間を確保する点で役立ちます。

最低限の火災防衛のため、感知器は、寝室に煙が侵入する前に煙を遮断するために、リビングルーム等の部分と寝室との間に設置するのが有効です。高層住宅では、感知器区分を階ごとに分けるために、階段部分にも設置します。もし、室内で喫煙する場合、ドアが閉まっている寝室内で火災が発生した場合に寝室の外に設置された煙感知器では寝室から煙が流出し警報が作動するまで時間がかかり早期の火災発見の妨げになります。その際は各寝室内にそれぞれ追加の煙感知器を設置しましょう。

閉め切った部屋では、煙感知器に煙が到達し作動するまでに遅れを生じる可能性があるため、廊下にも煙感知器を設置すると良いでしょう。広く、閉ざされた部屋で起きる火災は、非常に激しい勢いで燃焼します。特に地下室は、比較的広く、感知器が無く、出入口・階段付近で閉鎖され、隔離されています。地下室での火災は少なくありません、地下室への階段の部分に煙感知器を設置することを推奨します。

煙感知器はドアや他の障害物から距離を置き、天井又は天井近くの高い位置に設置しましょう。ドア、窓、送風機、通気口からの空気の流れがある場所は避けて下さい。気流が乱れる要因がある付近では煙や燃焼による粒子感知器に届かず警報が遅れる原因になる場合があります。また取り付け、使用前に、製品の取り扱い説明書を注意して読んで下さい。

煙感知器は、あなたと、そしてあなたの家族の安心と安全な睡眠を確保の為に払う小さな投資です。